

連合千葉『2025年度政策学習会』を開催

2025年5月31日(土) 10時00分より、千葉県教育会館新館501会議室にて、連合千葉の政策立案能力向上を目的とした「政策学習会」を開催しました。

構成組織・地域協議会・青年委員会・女性委員会・連合千葉議員団会議・福祉団体・千葉県退職者連合より参集・WEBを合わせて128名の方にご参加いただきました。

連合千葉政策委員会の伊藤委員長より主催者挨拶を行った後、長浜博行参議院副議長より「副議長として見た国会の風景」というテーマで、現在開かれている第217通常国会において2025年度予算案をはじめとする連合の重点法案がどのように審議されているか、合わせて、参議院副議長という役職は普段どのようなことをしているのかなど幅広い内容についてお話を伺いました。

その後、政策担当の滝本部長より、今年度千葉県へ要請する政策(2025年度政策・制度要求と提言)案に関する策定プロセスや今後の取り組み予定を説明し、板倉政策委員会副委員長の挨拶をもって閉会となりました。

ご講演を賜りました長浜参議院副議長をはじめ、大変お忙しい中ご参加くださいました皆様に心より御礼申し上げます。



【代表挨拶】伊藤委員長



【講師】長浜博行 参議院議員



【司会】伊藤委員



【説明】滝本部長



【閉会挨拶】板倉副委員長



【質問】



【全体】

「選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願」街頭署名活動を実施

連合千葉は2025年5月20日(火)JR千葉駅東口において、「選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願」の署名を実施しました。

実施に当たっては連合千葉の事務局をはじめ連合千葉が推薦する千葉県議会議員(野田 剛彦(船橋市)、守屋 貴子(市川市)、菊岡 多鶴子(市原市)、秋山 陽(千葉市若葉区)、鈴木 均(習志野市))にもご協力をいただきました。

街頭署名の準備中から自ら寄ってきて署名をしてくれるなど、若い方を中心に関心があることがうかがえ、一定の署名が集まりました。



野田剛彦県議



守屋貴子県議



連合千葉第20回定期大会(告知)

連合千葉は2年1期で活動しています。今年度は定期大会を開催し、新たな期の運動方針を確立します。

【日時】2025年10月24日(金) 10:00～ 【場所】ホテル ポートプラザちば

第96回千葉県中央メーデーあいさつ(要旨)

連合千葉に集う組合員・ご家族の皆様、そして全ての働く仲間みなさま、お疲れ様です。働くということの価値を再認識しながら、働く者、ご家族とともに楽しいメーデーになればと思います。

今年の連合が主催するメーデーは「次代につなぐ 平和の願い! みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来(あした)を!」をスローガンに掲げ、全国各地で開催されています。今年は戦後80年という節目の年です。後ほど恒久平和を願い特別決議を採択いただきます。また、社会貢献・被災地復興の一環としてチャリティー抽選会を兼ねたカンパを行いますのでご協力をお願いいたします。

働く者を取り巻く環境や課題について触れておきたいと思います。

連合が取り組んでいる春季生活闘争では、先行組合・中小ともに、現時点では昨年を上回る賃上げを獲得しています。組合員の処遇改善に留まらず、賃上げの機運を社会全体に広げていく、そのけん引役としての役割を果たすことができていると思っています。厳しい交渉にあたられてきた構成組織のみなさまのご奮闘に敬意を表します。一方、賃上げを上回る物価上昇にくわえ、いわゆるトランプ関税など、これまで作り上げてきた賃上げの機運にも影響を及ぼしかねない、あらたなリスクとなることを危惧しています。

人手不足も深刻な課題です。生産年齢人口が減少していく中、生産性の向上・幅広い人材の登用などの施策に取り組んでいるところですが、働く者の立場としては、生産性向上の成果を働きや付加価値に見合った適正な分配構造を求めています。それには人件費原資の確保が必要不可欠です。価格転嫁、適正な取引慣行など労使交渉に留まらない構造上の環境整備も急務です。また、職場では多様化する働き方が進んでいます。差別やハラスメントが無い職場環境は仕事以前の「当たり前」の事です。長時間労働の是正や育児・介護休業法の改正など、法整備も進んではいますが、職場レベルでは課題が顕在化しているといった声も伺います。働く環境が変わっていく中であっても、働く者の尊厳を守り働き甲斐のある人間らしい仕事:ディーセント・ワークを、働く者・働いてもらう側の双方が常に意識することが重要です。連合千葉は、全ての働く者を対象に、安心して働ける環境づくりに向け、働く仲間みなさまとともに取組んでいく所存ですので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

政策実現に向けた政治活動については多くは申し上げませんが、至近では、国政では7月の参議院議員選挙、県内においても首長選挙や自治体議員選挙が執行されます。連合が行う政治活動は政策実現のためにつきます。私たちの生活に係わる政策は政治の場で決められます。政治は決して他人事ではないということを共有し、連合が推し進める政治活動へのお力添えをお願いしておきたいと思ひます。



結びといたしますが、メーデーは「労働者の日」であり「労働者の祭典」です。本日で参集のみなさまとともに、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けて、意思結集の場となるとともに、楽しく過ごせるメーデーになることをご祈念申し上げ、連帯のメッセージといたします。

ともに頑張りました!

第96回千葉県中央メーデー開催報告

第96回千葉県中央メーデーは、4月26日(土)千葉ポートパーク円形広場において約4,500名が参加して開催しました。

10時よりメーデー式典を開会し、冒頭、主催者を代表して、永富実行委員長から挨拶を受け、熊谷県知事をはじめ神谷千葉市長、労働局長ならびに議員団会議会長から祝辞をいただきました。また、メーデー宣言採択については、青年委員会小林委員長より読み上げられ、その後、今年は戦後・被爆から80年の節目において、平和の尊さや戦争の悲惨さなどを次代に継承すべく、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて、次代につなぐ平和の特別決議(案)を女性委員会 長谷川事務局長より提案され、いずれも満場の拍手で確認され、最後にガンバロー三唱を行い閉会しました。

式典閉会后、11時より祭典を開催し、構成組織やNPO・NGO、青年女性委員会の協力の下、模擬店を出店しました。また、舞台イベントとして極真空手小嶋道場の演武の披露、会場内では、ミニスカイライナーやファーフアー遊具、キッチンカーの出店など、多くの子供や参加者にご利用頂きました。

12時からは、チャリティー抽選会を開催し、今年度より、多くの構成組織から賞品を提供頂き、組合員やそのご家族に楽しんでいただきました。



式次第

- 主催者代表挨拶
千葉県中央メーデー実行委員会
永富 博之 実行委員長
- 千葉県知事 熊谷 俊人 様
- 千葉市長 神谷 俊一 様
- 千葉労働局長 小山 英夫 様
- 連合千葉議員団会議会長 天野 行雄 様
- メーデー宣言(案)採択
青年委員会 小林 俊介 委員長
- 戦後・被爆から80年
次代につなぐ平和の特別決議(案)
女性委員会 長谷川 麻奈美 事務局長
- 閉会



- チャリティー抽選会
本数41本
チャリティー募金集計結果
789,826 円

地域メーデー報告



4月26日(土)
船橋天沼弁天池公園
総武地域協議会



4月26日(土)
けやきプラザ
千葉県福祉ふれあいプラザ
東葛地域協議会



4月19日(土)
東総文化会館大ホール
東総・香取地域協議会



4月26日(土)
長生村文化会館
外房地域協議会



4月26日(土)
君津市民文化ホール
南総地域協議会

連合千葉『2025 男女平等学習会』を開催

2025年6月2日(月)16時より、千葉県教育会館新館501会議室にて2025男女平等学習会を開催しました。構成組織・地域協議会から参集・WEBを合わせて48名の方々にご参加いただきました。

この男女平等学習会は連合千葉における男女平等月間(6月)の取り組みの一環として開催されたものです。中島事務局長の司会で始まり、冒頭、永富会長より挨拶を行った後、連合本部のジェンダー平等・多様性推進局の渡辺茉奈さんを講師にお迎えして「法改正にともなう労働組合の取り組みについて」というテーマでご講演いただきました。

講演では、昨年改正された「育児・介護休業法」と「次世代育成支援対策推進法」の改正に至る背景や審議会での論議内容をはじめ、今回の改正点として新たに義務化あるいは努力義務化された内容を踏まえ、労働組合としてチェックすべきポイントや労使協議により法を上回る制度整備の必要性などについてわかりやすくご説明いただきました。私たち労働組合役員がどういうことに取り組むべきかを考える際の一助になる大変有意義な内容でした。

最後に、連合千葉の中島事務局長から閉会挨拶を行い、終了となりました。講師の渡辺さんをはじめご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

「連合千葉未来塾(2025年度)」を開催(第2回)

2025年5月10日(土)、千葉県教育会館新館501会議室にて、「連合千葉未来塾(2025年度)」全2回中の第2回を、7名の受講生の参加で開催した。講義の冒頭で、第1回(2024.11.22-23)時に自身で設定した半年間の行動目標に対する振り返りを行った。

講師にj.union株式会社の大川氏を迎え、最初の講義「プレゼンテーション力向上」では、「伝えてる」つもりでも「伝わっていない」、なぜ言いたいことが伝わらないのかを理解し、相手に関心や納得感を抱かせるためのコツも含めた分かりやすい「論理的な表現」法を学んだ。

次の講義「ファシリテーション力向上」では、受講生が個々に自分が参加して「嫌だな」「苦手だな」と感じた会議を挙げ、参加者にそう感じさせないための会議の進行スキルや場づくり＝「ファシリテーション」の重要性を理解し、その後、具体的なファシリテーションの手法として、グランドルールづくり、意見の引き出し方、「人」と「コト」で論点を区別し本質を理解する手法などを学んだ。

受講生アンケートでは、「ディスカッションが多く、講義の効果確認も有意義だった」「講師の豊富な経験談も聞いて良かった」といった意見をいただき、全2回の講座を修了した受講生にとっては満足度の高い研修会となった。



第96回千葉県中央メーデー宣言



本日、私たちは第96回千葉県中央メーデーを開催した。
2025年、節目の年。私たちは、過去に学び、現在(いま)を考え、未来(あした)を見据える年にしなければならない。

能登半島地震発災から1年が経過した。未だ被災地・被災者は平穏な日常を取り戻せていない。阪神・淡路大震災から30年。この間、幾多の自然災害に見舞われ、年々激甚化・頻発化している。一人ひとりが防災・減災の意識を高め備えなければならない。私たちは、災害の記憶を風化させることなく、被災地・被災者に寄り添った支援を継続し、これからも支え合い・助け合い運動を展開していく。

戦後・被爆80年。決して戦争の記憶を風化させてはならない。世界は今、「対立と分断」の道を突き進んでいる。戦後の多国間主義や国連中心主義が揺らぎ、国際秩序は混沌の度合いを増している。私たちは、平和の尊さ、戦争の悲惨さを次代に継承するとともに、世界の働く仲間と連帯を強め、非人道的な核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、平和運動を力強く進めていく。

私たちは、賃上げがあたりまえの社会をめざし、2025春季生活闘争を展開している。企業規模間、雇用形態間、男女間の格差是正と労務費を含む適切な価格転嫁、適正取引を徹底し、地場の中小企業や、労働組合のない中小・小規模事業所にも賃上げのすそ野を広げていかなければならない。労働組合があるからこそ要求し、労使対等な交渉が可能となる。労働組合の意義と必要性を社会全体に浸透させ、仲間づくりを強力に推し進めていく。

普通選挙法の施行から100年。女性参政権が認められて80年。そして男女雇用機会均等法施行から40年。私たちは、自由・平等・公正で平和な社会をめざしてきた。引き続き、信頼ある政治の実現をめざすとともに、一人ひとりが尊重され、多様性を認め合い、誰一人取り残されることのない社会とともに築いていく。

次代につなぐ 平和の願い! みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来(あした)を! 以上、ここに宣言する。

2025年4月26日
第96回千葉県中央メーデー

第96回千葉県中央メーデー 戦後・被爆80年 次代につなぐ 平和の特別決議



2025年、戦後・被爆80年となる。

80年前、第二次世界大戦により、世界で約8千万人が犠牲となった。人類史上、初めて広島に、そして長崎に投下された原子爆弾は計り知れない破壊と苦しみをもたらした。今なお、戦禍の傷跡や痛みは癒えていないが、連合は、不戦の誓いのもと、働く仲間が連帯し、平和・人権・民主主義を守る歩みとともに、沖縄・広島・長崎・根室において平和運動を展開している。ウクライナ、パレスチナ、ミャンマーなど、今なお、世界では戦争・紛争や人権侵害が起きている。なんら罪のない多くの人々は苦しみ、依然として核兵器の脅威は存在している。戦禍の記憶を風化させることなく、武力ではなく、対話と信頼の関係構築を通じ、戦争や核兵器のない世界、持続可能な世界の実現に向けて、私たちは、不断の努力を続けなければならない。

昨年、被爆者の立場で「核兵器なき世界」を訴え続けた日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことは、「対立と分断」を深める世界への警鐘である。

「一発の原子爆弾は私の身内5人を無残な姿に変え一挙に命を奪いました。その時目にした人々の死にざまは、人間の死とはとても言えないありさまでした。たとえ戦争といえどもこんな殺し方、こんな傷つけ方をしてはいけなく、私はそのとき、強く感じたものであります。」

これは、日本被団協・代表委員の田中照巳(たなか てるみ)さんの言葉である。

戦争は最大の人権侵害である。

今を生きる私たちの責任として、戦争の悲惨さと平和の尊さを次代に継承していかなければならない。

戦後・被爆80年の今、世界がより良い未来(あした)へと向かうための行動と平和の誓いを新たに、次代につなぐ平和の決議とする。

2025年4月26日
第96回千葉県中央メーデー